

読者のお便りから

○ふと手にした『同志社時報』122号を通読してみても、結構読ませるし、面白い雑誌だと思った。先ず特集、今や大学以上に話題の小学校を取り上げているが、座談会の内容も多岐にわたり、興味深かった。中でも毎日新聞・奥野記者の発言は、同志社の先生方からは聞けない第三者の意見といった響きがあつて、示唆に富むところが多かった。巻頭のインタビューは、学ぶこと、人とのふれあい、生きることの意味合いが滲み出ている、少々オーバーに言えば『人生の応援歌』になっている。また、『同志社人物誌』は柳宗悦の同志社との関わりが具体的に紹介されていて面白く、大いに参考になった。以上が前号の「私のベスト3」。自画自賛の内容に陥らないことと、一層の充実を期待したい。

(京都府・角田亮洋)

○志村和次郎氏の「柳宗悦」を拝読し、昭和4年高女を卒業した私の母(96歳)が柳兼子先生に教えを受けた話を思い出し、母のために122号を取り寄せました。早速、母より電話が入り、混声合唱

団のメンバーに高女から2名選ばれてハレルヤコーラスを演じたこと、その時の男声のバスの低音がお腹にビリビリ響いたこと等、それはそれは嬉しそうに思い出話をしてくれました。私も昨秋東京での同志社混声合唱を聞きに行つて、その歴史の長いこと、そして今母がメンバーに入っていたことを初めて知り、母娘同志社に学べた幸福を喜び、感謝しています。今城牧師の緩和ケア病棟での日々のインタビュー、山折先生の「日本宗教から一神教への提言」、北垣先生の「オーテス・ケリー先生を偲ぶ」など、充実した内容が無料、申し訳ないように思いました。

(千葉県・高木世津)

○一同志社人の苦言一言。特集「同志社小学校に期待する」すべて、「同志社小学校にこそ『新島精神』を培う園がある!」。ここが関関立の小学校、公立小学校と違う点である、との発言・力説が皆無。一番遺憾なのは、同志社小学校が目ざす人材とは何か? がはつきりしていない点である。新島先生は「一国の良心ともいふべき人々」の養成がわが教育の骨子と明言されている。「特集」欄以外は実によろしい。「オーテス・ケリー先生を偲ぶ」「同志社人物誌・柳宗悦」

は秀逸。

(京都府・那須頼雅)

○このたび初めて読ませていただきました。私は現在、都内広告代理店に勤務しており、大学をはじめ教育関連広告を扱っています。出張時に「キャンパスプラザ京都」を訪れ、各大学の資料とともに入手しましたが、貴法人の取り組みに大変興味を持ち、継続して拝読したくこの葉書(申し込み)をお送りした次第です。

(東京都・手嶋由衣)

○前号は記事が多岐にわたり、大変興味深かった。特に「同志社人物誌」柳宗悦に関しては、単なる民芸家としての紹介でなく、同志社における人間関係が理解できて良かった。学内の研究者にとらわれることなく、対象を広く学外で活躍されている卒業生に光を当てていくことで、『時報』の楽しみが増すものと思える。苦言としては、巻頭の同志社小学校の写真で、図書室で子どもが上履きを履いたまま椅子に足を置いている風景。初歩的な教育を大切に。(京都府・下村正臣) (編集係から) 写真は階段状の床で、友だちと楽しく読書できるよう工夫されたコーナーです。ご指摘の椅子などは設置されていません。

お知らせ

第31回Neesima Room企画展

同志社と戦争 1930～1945

戦前、戦中の知られざる同志社の消息を未公開資料で明らかにいたします。戦場へ向かう学生たちが残した詩や手紙、寄せ書きなど、戦争の生々しさを伝える遺品もご遺族の協力を得て展示いたします。同志社が経験した戦争とは何かを考えていただく機会となれば幸いです。

〈期 間〉 2007年4月2日(月)～8月31日(金)

〈時 間〉 10:00～17:00 (土・日曜日は16:00まで)
ただし、8月は10:00～16:00。

〈会 場〉 Neesima Room

(同志社大学今出川キャンパス・ハリス理化学館2階)

〈閉室日〉 祝祭日、5月1日～5月2日、8月13日～17日、8月の土・日曜日

〈入場料〉 無料 (事前申し込み不要)

〈お問い合わせ先〉 同志社社史資料センター Tel. 075-251-3042

E-mail: ji-shasi@mail.doshisha.ac.jp



国民精神総動員講演会場
(同志社・栄光館/1937.10.23)

『同志社時報』 ご購読について

より多くの方々に読んでいただくために、118号(2004年10月発行)から購読料が無料になりました。送料のみのご負担で定期購読いただけます。

●定期送付のお申し込みについて

新規・継続の定期送付のお申し込みを受け付けています。巻末はがき、電話、FAXまたはe-mailで大学広報課までご連絡ください。

10月、4月の年2回発行。送料(1冊につき切手200円)のみご負担ください。ご連絡をいただき次第、「申込み用紙」を送付いたします。

●バックナンバーのお申し込みについて

広報課まで必要経費分(購読料+送料)の切手を添えてお申し込みください。

〈購 読 料〉 ①1号～51号 100円 ②52号～78号 150円 ③79号～117号 200円 ④118号～ 無料

〈在庫切れ〉 29号、52号、54号、91号、95号、119号

〈送 料〉 1冊につき200円

●ご意見・ご感想をお聞かせください

ご意見・ご感想は、誌面に掲載させていただく場合があります。掲載させていただいた場合、記念品(薄謝)をお送りします。巻末のはがき、お手紙、eメール等でお寄せください。

同志社大学広報課 同志社時報係

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

電話 075(251)3120 FAX 075(251)3080

e-mail: ji-koho@mail.doshisha.ac.jp